

不思議がいっぱい「クモの世界」

クモと昆虫のちがい



昆虫の脚は6本なのに対して、クモの脚は8本あります。クモの体は、頭と胸がくっついた頭胸部と腹部の2つに分かれているのが特徴です。眼は普通8個あり、科によって並び方は異なります。

クモのおもしろ生態1 いろいろなクモの網

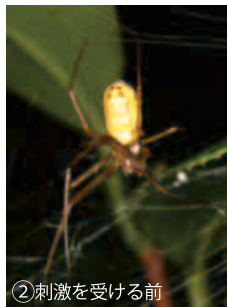
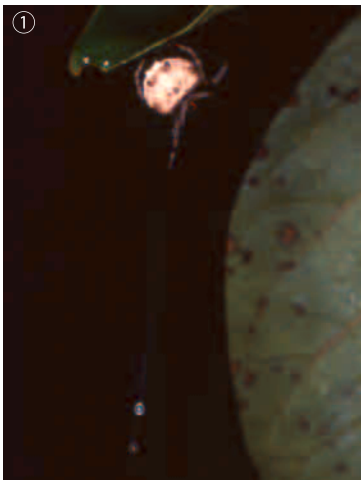
クモの網には、円網、皿網、棚網、不規則網などのさまざまな形があります。それぞれ網の張り方に工夫が見られ、獲物の捕り方の違いがわかります。

① クロガケジグモ(ガ
ケジグモ科・外来種
のボロ網)
② クスミサラグモ(サ
ラグモ科のハンモツ
クモの網)



クモのおもしろ生態2 おどろきの生態

網を張る糸は、クモのおしりにある糸いぼから紡ぎ出されたものです。この糸を使って狩りをするクモもいます。これまでの観察・調査からクモの不思議で興味深い生態が明らかになってきました。



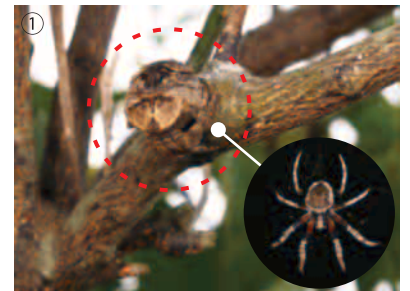
②キララシロカネグモ(アシナガグモ科)腹部が金色をした美しいクモですが(写真右)、刺激を受けるととたんに褐色に色を変えてしまいます。

①ムツゲイセキグモ(コガネグモ科)投げ縄グモと呼ばれ、粘球のついた糸をぶら下げ、蛾が飛んでくるとそれを振り回し、くっつけて捕らえます。餌になるのはオスの蛾だけです。蛾のメスが発するフェロモンとよく似た物質を放ち、オスをおびき寄せています。

クモのおもしろ生態3

擬態するクモたち

擬態して敵から身を守ったり、獲物をだましたりしています。



①ゲホウグモ(コガネグモ科) 昼間、木の枝や幹にじっととまっているようすは、まるで木のこぶのようです。

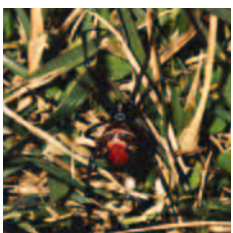


②ゴミグモ(コガネグモ科) 網の中央部に、食べかすや枯葉片などのゴミを縦に並べてカモフラージュし、そこに潜んでいます。



③トリノフンダマシ(コガネグモ科) 脚を縮めて葉の裏にとまっているようすは、名前の通り、鳥のフンのようです。

注意しよう! 特定外来生物 セアカゴケグモ



セアカゴケグモの体は黒く、腹部の背面に赤い模様があるのが特徴です。毒を持っているのはメスのみで体長(脚の長さは含めない)7~10mmほどあります。

クモの毒は獲物とする昆虫を捕らえるためのものであり、日本にいるほとんどのクモの毒は、一部を除いて人間に危害を与えることはないといわれています。

オーストラリア原産の毒性が強いといわれているセアカゴケグモは、輸入コンテナなどに付着して日本へ侵入してきたと考えられ、国内でその生息域が広がっていることが問題になっています。

セアカゴケグモは攻撃性はなく、恐れる必要はありませんが、見つけた場合は素手で触らないようにしましょう。駆除する際は、ご家庭の殺虫剤などを使用すると有効です。